

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



レスリング競技 成年男子 フリースタイル 74kg級 優勝 多胡島伸佳（早稲田大学）

〔写真提供：秋田魁新報社〕

contents

◎2015紀の国わかやま国体グラビア	2	◎日本スポーツマスターズ2015石川大会視察報告	13
◎“わかやま国体を振り返る”誌上座談会	3	◎北都銀行女子バドミントン部紹介	14
◎第70回国民体育大会(本国体)入賞者一覧	6	◎スキー競技の展望	15
◎第70回国民体育大会成績と前年度比較	7	◎いざ、冬の陣!	16
◎2015紀の国わかやま国体優勝者ヘインタビュー	8	◎目指せ!オリンピック!!	18
◎平成27年度全国高等学校総合体育大会成績	9	◎県内スポーツの主なできごと	19
◎中学生強化選手競技力向上研修	10	◎賛助会員	20
◎第9期秋田県中学生強化選手指定証交付式	11	◎寄付名簿	21
◎秋田県総合型地域スポーツクラブ ヒューマンエラー防止研修会	12	◎県体協事務局だより	22



陸上競技 成年男子 10000m競歩
優勝 小林 快 (ビックカメラ)



レスリング 成年男子 グレコローマンスタイル 98kg級
優勝 大坂 昂 (三菱電機)

第70回国民体育大会
躍動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 **わがやま** 国体



フェンシング 成年男子 フルーツ
2位 秋田選抜 (松岡 慧)



レスリング 少年男子 グレコローマンスタイル
84kg級 2位・山田修太郎 (秋田商業高校) と
50kg級 3位・菅原 幹太 (同)



ウエイトリフティング 成年男子 53kg級
クリーン&ジャーク
2位 佐藤 亮哉 (秋田県体育協会)



バドミントン 成年女子
2位 北都銀行 (田中 志穂)



カヌー 成年男子 ワイルドウォーター・カヤックシングル (スプリント)
2位 佐々木 優 (食彩げんべい)

[写真提供：秋田魁新報社]

“わかやま国体を振り返る” 誌上座談会

天皇杯38位、本国体では41位、少年46位

座談会参加者：小笠原直樹会長（団長）、鈴木斌次郎副会長（総監督）

片野裕専務理事（副団長）、佐藤重満事務局長（本部総括）

佐藤： わかやま国体は、天皇杯、皇后杯ともに38位と、昨年のそれぞれ42位、40位を少し上回った。本県選手団の戦いぶりを振り返り、今後の強化の課題を探っていきたい。

まず、群馬の冬季大会と岩手・東北ブロック大会から話を進めたい。

鈴木： 「ぐんま冬国体」では、スキー競技の活躍で120点（参加点を除く。以下同じ）を獲得し、天皇杯6位につけ、幸先のよいスタートとなった。岩手のミニ国体では、強化を進めている岩手県に負けて、国体出場を逃した競技が多かった。昨年の長崎国体で準優勝したフェンシング成年女子、ラグビー成年男子と軟式野球が出場権を失った。

小笠原： バスケットボール少年男子も岩手に逆転負けを喫し、国体出場権を失ったのは、残念だった。

片野： 全種別とも国体に出場できなかったのが9競技と、昨年に比べ5競技増えた。その中には、ボウリングや弓道など、昨年の国体で入賞した競技もあった。

佐藤： 国体出場を決めた後に、監督の資格要件を満たしていなかったことが判明し、出場できなくなった柔道少年女子チームには、大変申し訳ないことをした。今後、このような事態が起きないように、十分注意していく。

わかやま国体の状況

佐藤： 次に、本国体だが、主会期前の競技はどうだったか。

鈴木： 水泳では、昨年入賞した成年女子の小林明日香選手が100m平泳ぎと同バタフライでいずれも7位に入賞。バスケットボールでは成年男子がJR東日本秋田支社を中心とするチームで、1回戦、北海道に勝ち、2回戦で埼玉に敗退、5位入賞を果たした。成年女子は秋田銀行が中心のチームで、1、2回戦を順調に勝ち上がったが、準決勝で愛媛に2点差で涙をのんだ。少年女子は、1回戦で高知、2回戦で長野を破り、3回戦へ進んだが、千葉に健闘むなしく敗退、ベスト16に食い込んだ。バスケットボールは合計で40点を獲得した。

佐藤： それでは、前半の競技から振り返ってみたい。

片野： 今回の国体優勝は個人競技のみで4人だったが、そのうち3人がレスリング。成年男子フリースタイルの多胡島伸佳、門間順輝とグレコローマンの大坂昂選手で、ほかに2位が岩澤侃と山田修太郎、3位が栗森幸次郎と菅原幹太、ベスト8が菊地憲と本間賢志選手の計9名が入賞した。多胡島選手の決勝の相手は、今年の全日本選抜選手権大会で負けた選手だが、最後まであきらめずに攻撃し、逆転勝ちを収めた。門間選手は第66回の山口国体で優勝した後、3年ぶりの国体出場だったが、母校での練習で実戦感覚を調整してきた努力が実った。大坂選手は、昨年、靱帯を痛めるなど故障が多く、思うように練習ができなかったが、経験を活かして冷静に試合をものにした。レスリングは、合計で54点と、本県トップの得点をあげるという大活躍だった。



レスリング 成年男子 フリースタイル 86kg級
優勝 門間順輝（秋田市消防本部）



鈴木： 国体前に秋田商業を激励訪問したが、熱の入った練習で、一人ひとりが優勝を目標にやっているという気迫が伝わってきた。選手に胸を貸しているOBの存在が大きい。一流選手の筋肉に触れ、からだでその技術を覚えることができる。きつい稽古がこうした成績につながった。

片野： 1年生の山田修太郎選手が2位に入賞したのは大きな収穫。8月のグレコローマン全日本でも準優勝と勢いがあり、今後が楽しみだ。レスリングは、中学校で部活がなく、道場などの経験者から選手をリクルートしている。優勝した大坂選手は、中学は柔道部だったが、秋田商業でレスリング部に入った。他競技からの移行がうまくできるシステムが必要だ。

小笠原： ラグビー日本代表の五郎丸選手は、「子どもが何種目もスポーツをする環境がなく、ラグビーだったら、それしかできないというのが日本のスポーツ界。子どもの可能性をつぶしてしまっていないか」と言っている。生徒に広い選択肢を示して、その特性にあったスポーツを指導することも重要だ。

鈴木： フェンシングは、インターハイを制覇して臨んだ少年女子チーム（聖霊高校）が、雪辱に燃える地元和歌山に2回戦予選プールで敗退した。成年男子は、1、2回戦の予選プールを勝ち上がり、準々決勝は埼玉、準決勝は富山に勝って決勝に進んだ。惜しくも東京に負けたが堂々の2位を確保した。

小笠原： 国体前に聖霊高校を激励訪問した。少ない人数で練習しており、監督、コーチと選手のコミュニケーションもよく、ふだんのこうした練習が強さを生み出すと思った。

鈴木： ウエイトリフティングは、4人が入賞した。県体協のテクアド（テクニカルアドバイザー）、佐藤亮哉選手は53kg級ジャークで2位、スナッチも6位に入った。母校の金足農業高校で齊藤博史監督の下、生徒の指導と自らの練習をこなしてきた成果が出た。成年男子105kg級の藤原和朋選手は、スナッチ5位、ジャークで8位、+105kg級の腰山浩汰選手は、5位に入った。少年男子の古山翔太選手は、+105kg級ジャーク5位、スナッチ7位入賞を遂げた。

佐藤： 相撲は、昨年、成年男子が3位、少年男子が4位と大活躍したが、鈴木総監督の事前予想によると、今年は去年のようにはいかないと言っていた。ふたを開けてみると、少年は予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進んだ。1回戦は、地元和歌山を3-2で破り、準々決勝では愛媛を退けたが、準決勝でインターハイ優勝の埼玉に敗退し、4位となった。大健闘といってよい。

片野： 少年チームは、金足農業、大曲農業、平成高校の混合。ほとんどが中学生強化指定選手で、中学生時代から連盟が一貫して指導してきた成果が上がったものだ。レスリングやウエイトリフティング同様、競技人口が少ない中で選手を育て、レベルアップをしている好例と思う。

鈴木： バレーボールも少年女子が頑張って7位に入賞した。2回戦の相手は地元和歌山信愛高校で、アウェーの中、第1セットを落としたが、2、3セットを取り返して、準々決勝へ駒を進めた。相手の長崎・九州文化学園高校は、今年のインターハイを制し、今国体も優勝したチームで、0-2で敗退。5位、7位決定戦で広島に敗れたが、貴重な国体得点をあげた。

片野： 由利、秋田北、和洋、能代松陽、角館の5校による混成チーム。一堂に会しての練習に苦労したと思うが、総合開会式で冗談を言い合っていた様子を見るとよくコミュニケーションがとれ、チームワークも良さそうな感じだった。選手たちの明るさと前向きな姿勢が結果にでたと思う。

鈴木： なぎなたも少年女子が東北一の意地を見せ、試合の部でベスト8に入った。ボートは、少年女子シングルスカルの浅利真美子選手が6位入賞した。



バレーボール 少年女子
7位 秋田選抜(中田 紫乃)

佐藤： 次に後半の種目だが、まずバドミントンから。

鈴木： 成年女子のみストレート出場で、北都銀行の楠瀬由佳、米元小春、田中志穂の3選手。1、2回戦はそれぞれ岩手、愛媛を2-0で下し、3回戦は千葉で、昨年の日本リーグ王者のメンバーをそろえてきたが、米元・田中組がダブルス、シングルスを制して準々決勝へ進んだ。勢いに乗る本県チームは、兵庫に2-0、準決勝では東京に2-1で勝って、6年ぶりの決勝進出をきめた。相手は、昨年と一昨年に対戦し退けられた熊本で、今度こそと言う思いだったが、残念ながらリベンジはならなかったものの、堂々の準優勝。



片野： 原田利雄監督は、千葉とのゲームで、ダブルスに出た田中選手を続けてシングルスに起用した。相手はリオ五輪候補の橋本選手だが、気迫あふれるプレーでポイントを奪い、みごとにストレート勝ちした。決勝で負けたあと、原田監督は、どうやったら勝てるのかわからないとぼやいていたが、心の中ではこの次こそはと思っているに違いない。

佐藤： カヌーでは、スプリント・カナディアンシングルで県体協テクアドの石井景介選手が7位に入賞。石井選手は、今年、日体大を卒業し、由利本荘市のアクアパルで中学生を指導しながら、自分の練習もしている。スラローム・カヤックシングル（25ゲート）では、同じくテクアドの佐々木翼選手が5位入賞、同15ゲートで4位に入った。ワイルドウォーター（1500m）の佐々木優選手は9位だったが、スプリントで準優勝と挽回した。成年女子の佐藤彩乃選手は9位で入賞を逃した。

片野： 神奈川県で実施されたクレ射撃は、トラップ団体100個で4位入賞を果たした。昨年は3位入賞で、地力があるチームだ。

鈴木： 最後は、陸上競技だが、成年男子1万m競歩で小林快選手が初優勝した。少年女子B100m障害で大館鳳鳴高校1年の関本萌香選手が2位、同じくAハンマー投げで花輪高校2年の小館充華選手が6位に入賞した。



陸上競技 少年女子A ハンマー投げ
6位 小館 充華（花輪高校）

今後の課題は

佐藤： 入賞した競技について振り返ったが、次は入賞できなかった競技を中心に、課題などを話していただきたい。

小笠原： ラグビーの少年男子は東北代表を勝ち取ったが、1回戦で京都に敗退した。前半は0-12と振るわず、後半で盛り返したが、力及ばなかった。

鈴木： 高校は花園を意識しているほうが強い。そういう中で、混成チームをいつから、どうやって強化するか、今後の課題と思う。

片野： バレーボール少年男子は1回戦で長野にストレート負けをした。インターハイでも決勝トーナメント3回戦で敗退している。これまでとは別の視点から分析するなど、さまざまな戦術を考えていく必要があるのではないかと。

佐藤： ミニ国体で負けたもので、高校強化拠点校の指定を受けている競技をみると、バスケットボール（男子）、フェンシング（男子）、新体操、剣道、卓球（女子）がある。まずは国体予選である東北総体で出場権を確保しなければならない。

鈴木： 競技レベルの高い優秀な選手は県外の高校に早いうちから勧誘されてしまう。もし、県内校に残っていれば、もっと勝ち上がれるという競技団体がいるが、これはおかしい。競技団体として中高一貫指導をしていく理念と計画がないのではないかと。もっと真剣に取り組めば県内で頑張ろうという選手も出てくると思う。

片野： 中学校と高校の申し合わせに過剰反応して、生徒との接触を県内校のみ禁止しているのが原因だ。ある競技団体の話では、県外でそういう申し合わせはない、秋田だけだと笑われているとのことだった。また、県外校へ優秀選手の情報を提供している教員もいると聞く。中高一貫指導体制の整備も国体の少年の得点を見る限り、成果はあがっていない。この点について、再度議論が必要だ。

鈴木： なんといっても得点大きい団体競技の入賞が少ない。ラグビーやサッカー、軟式野球などの強化がポイントだ。競技団体だけでなく、県、県教委、県体協が一緒になって「チーム秋田」を応援していく臨戦態勢が必要だ。

小笠原： それぞれの競技によって対策は異なるだろうが、来年だけでなく、2020年には東京オリンピック、その前にも冬季オリンピックが韓国のピョンチャンで開かれるので、そうしたことも見据えてあらゆる面から競技力向上プランを立て、着実に成果をあげられるよう期待したい。県体協としても、競技団体とともに頑張っていかなければならない。

〔写真提供：秋田魁新報社〕



第70回国民体育大会（本国体）入賞者一覧

順位	競技名	区別	種目	氏名	所属
1位	レスリング	成男	フリースタイル・74kg級	多胡島 伸佳	早稲田大学3年
	レスリング	成男	フリースタイル・86kg級	門間 順輝	秋田市消防本部
	レスリング	成男	グレコローマンスタイル・98kg級	大坂 昂	三菱電機(株)
	陸上競技	成男	10000m競歩	小林 快	(株)ビックカメラ
2位	ウエイトリフティング	成男	53kg級・クリーン&ジャーク	佐藤 亮哉	秋田県体育協会
	フェンシング	成男	フルーレ	秋田選抜	
	バドミントン	成女		北都銀行	
	レスリング	少男	フリースタイル・55kg級	岩澤 侃	秋田商業高校3年
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル・84kg級	山田 修太郎	秋田商業高校1年
	陸上競技	少女B	100mハードル	関本 萌香	大館鳳鳴高校1年
	カヌー・WW	成男	カヤックシングル・スプリント	佐々木 優	食彩げんべい
3位	バスケットボール	成女		秋田選抜	
	レスリング	成男	フリースタイル・65kg級	栗森 幸次郎	三恵海運(株)
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル・50kg級	菅原 幹太	秋田商業高校3年
4位	相撲	少男	団体	秋田選抜	
	カヌー・SL	成男	カヤックシングル・15ゲート	佐々木 翼	秋田県体育協会
	クレー射撃	成男	トラップ	秋田選抜	
5位	バスケットボール	成男		秋田選抜	
	レスリング	成男	フリースタイル・61kg級	菊地 憲	秋田県レスリング協会
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル・74kg級	本間 賢志	秋田商業高校3年
	ウエイトリフティング	成男	105kg級・スナッチ	藤原 和朋	能代山本広域市町村圏組合三種消防署
	ウエイトリフティング	成男	+105kg級・クリーン&ジャーク	腰山 浩汰	金沢学院大学4年
	ウエイトリフティング	少男	+105kg級・クリーン&ジャーク	古山 翔太	金足農業高校3年
	カヌー・SL	成男	カヤックシングル・25ゲート	佐々木 翼	秋田県体育協会
6位	ウエイトリフティング	成男	53kg級・スナッチ	佐藤 亮哉	秋田県体育協会
	ボート	少女	シングルスカル	浅利 真美子	秋田高校2年
	陸上競技	少女	ハンマー投	小舘 充華	花輪高校2年
7位	水泳(競泳)	成女	100mバタフライ	小林 明日香	筑波大学大学院
	水泳(競泳)	成女	100m平泳ぎ	小林 明日香	筑波大学大学院
	バレーボール	少女		秋田選抜	
	ウエイトリフティング	少男	+105kg級・スナッチ	古山 翔太	金足農業高校3年
	カヌー・SP	成男	カナディアンシングル・500m	石井 景介	秋田県体育協会
8位	なぎなた	少女	試合	秋田選抜	
	ウエイトリフティング	成男	105kg級・クリーン&ジャーク	藤原 和朋	能代山本広域市町村圏組合三種消防署



第70回国民体育大会成績と前年度比較

- 第70回和歌山国体総得点 374.5点+参加点400点=774.5点
天皇杯38位 皇后杯38位
- 第69回長崎国体総得点 369.0点+参加点400点=769.0点
天皇杯42位 皇后杯40位

	冬季国体	本国体	総	合
第70回	150.0	624.5	774.5	38位
第69回	123.0	646.0	769.0	42位
比較	27点↗	21.5点↘	5.5点↗	4位↗

総合成績 天皇杯 皇后杯 (男女総合得点)

県名	順位	得点	県名	順位	得点
和歌山	1位	2257.0	東京	1位	1121.0
東京	2位	2052.5	和歌山	2位	999.5
愛知	3位	1977.5	大阪	3位	963.5
埼玉	4位	1904.5	愛知	4位	942.5
大阪	5位	1806.5	埼玉	5位	803.0
神奈川	6位	1626.0	千葉	6位	749.5
千葉	7位	1528.5	神奈川	7位	729.5
福岡	8位	1519.5	兵庫	8位	694.5
北海道	9位	1393.0	北海道	9位	670.5
京都	10位	1293.5	愛媛	10位	665.0
岡山	11位	1222.5	岐阜	11位	658.0
兵庫	12位	1215.5	福岡	12位	625.0
愛媛	13位	1203.5	広島	13位	624.5
長野	14位	1150.5	静岡	14位	610.5
岐阜	15位	1130.5	岡山	15位	608.5
岩手	16位	1099.0	岩手	16位	598.0
長崎	17位	1070.5	長野	16位	598.0
熊本	18位	1038.5	京都	18位	597.0
栃木	19位	1029.0	群馬	19位	569.0
静岡	20位	1015.5	長崎	20位	547.5
広島	21位	1000.5	熊本	21位	542.0
群馬	22位	997.5	宮城	22位	537.0
宮城	23位	956.5	三重	23位	502.0
滋賀	24位	940.0	福井	24位	500.5
大分	25位	930.5	茨城	25位	488.5
福井	26位	920.5	滋賀	26位	486.0
三重	27位	918.0	山口	27位	470.5
山口	28位	904.5	大分	28位	468.5
石川	29位	887.0	山梨	29位	459.5
香川	30位	879.0	鳥取	30位	459.0
福島	31位	866.0	栃木	31位	454.5
茨城	32位	839.0	佐賀	32位	440.0
奈良	33位	834.5	鹿児島	33位	437.0
山梨	34位	818.5	香川	34位	433.5
富山	35位	807.0	福島	35位	430.5
山形	36位	801.5	石川	36位	430.0
鹿児島	37位	799.5	富山	37位	425.0
秋田	38位	774.5	秋田	38位	414.0
新潟	39位	767.0	山形	39位	410.5
青森	40位	722.5	新潟	40位	405.5
鳥取	40位	722.5	徳島	41位	367.5
宮崎	42位	707.5	沖縄	42位	356.0
佐賀	43位	687.5	青森	43位	354.5
島根	44位	648.5	島根	44位	347.0
沖縄	45位	633.0	高知	45位	340.0
徳島	46位	605.5	奈良	46位	337.0
高知	47位	576.5	宮崎	47位	334.5

国体得点一覧(競技・種別)

競技名	平成27年 第70回(和歌山)				合計
	少年		成年		
	男	女	男	女	
スケート(スピード)	0.0	—	0.0	0.0	0.0
スケート(フィギュア)	—	—	—	—	0.0
アイスホッケー	—	—	—	—	0.0
スキ	18.0	14.0	64.0	24.0	120.0
陸上	0.0	10.0	8.0	0.0	18.0
水泳(競泳)	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0
水泳(飛込)	—	—	—	—	0.0
水泳(水球)	—	—	—	—	0.0
水泳(シンクロ)	—	—	—	—	0.0
サッカー	—	—	—	—	0.0
テニス	0.0	0.0	—	0.0	0.0
ボート	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0
ホッケー	—	—	—	—	0.0
ボクシング	—	—	—	—	0.0
バレーボール	0.0	7.5	—	—	7.5
体操(競技)	—	—	—	—	0.0
体操(新体操)	—	—	—	—	0.0
バスケットボール	—	0.0	12.5	27.5	40.0
レスリング	22.0	—	32.0	—	54.0
セーリング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウエイトリフティング	6.0	—	19.0	—	25.0
ハンドボール	0.0	—	—	—	0.0
自転車	0.0	—	0.0	—	0.0
ソフトテニス	—	—	0.0	—	0.0
卓球	—	—	—	0.0	0.0
軟式野球	—	—	—	—	0.0
相撲	25.0	—	0.0	—	25.0
馬術	—	—	0.0	—	0.0
フェンシング	—	0.0	21.0	—	21.0
柔道	0.0	—	0.0	—	0.0
ソフトボール	—	—	—	—	0.0
バドミントン	—	—	—	21.0	21.0
弓道	—	—	—	—	0.0
ライフル射撃	0.0	—	0.0	—	0.0
剣道	—	—	0.0	—	0.0
ラグビー	0.0	—	—	—	0.0
山岳	—	—	—	—	0.0
カヌー(SL・WW)	—	—	16.0	0.0	16.0
カヌー(FWR)	—	—	2.0	—	2.0
アーチェリー	—	—	—	—	0.0
空手道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
銃剣道	—	—	0.0	—	0.0
クレー射撃	—	—	15.0	—	15.0
なぎなた	—	3.0	—	0.0	3.0
ボウリング	—	—	—	—	0.0
ゴルフ	—	—	0.0	0.0	0.0
小計	71.0	37.5	189.5	76.5	374.5
得点割合(%)	19.0	10.0	50.6	20.4	得点
少年・成年別得点	108.5		266.0		団体
同割合(%)	29.0		71.0		
男・女別得点	男260.5		女114.0		14競技
同割合(%)	69.6		30.4		
天皇杯得点・順位	774.5点 38位				獲得得点
皇后杯得点・順位	414.0点 38位				

※天皇杯得点及び皇后杯得点は参加点を含む



2015紀の国わかやま国体優勝者へインタビュー



レスリング フリースタイル 74kg級
多胡島 伸 佳 (早稲田大学 3年)
明桜高校 - 早稲田大学

1. 今大会の結果について (①感想、②勝因、③苦しかった点)
 - ①自分自身優勝できると思っていただけに非常にうれしかった。
 - ②普段は結果だけではなく内容も踏まえた試合を意識しているが、今回は何よりもまず勝つことを最優先し、焦らず貪欲に勝負出来たのが勝因だと思う。
 - ③普段よりも1階級上の階級に出場したので、フィジカル面において一番工夫が必要だった。
2. スポーツ王国秋田を作る為にならなければいけないことは (①自分ができること ②みんなが取り組むべきこと)
 - ①まずは何よりも成績を残すこと。その上で自らの原点である秋田県で高校まで学んだことをいかに今に活かせるかが大事だと思う。
 - ②すべての競技が等しく注目を浴びているとは言い難い実情がある。まずはこの実情を打破する1歩としてたくさんの人がたくさんの競技に接する事が出来るようになればいい。
3. 秋田で競技をしているジュニアアスリートへ日本一になるためにどのようなことをしたら良いのかアドバイス

自分の競技環境、選手としての強みをまずはしっかりと認識する。その上で他の選手と差をつけるためにはどこに注力すれば効果的か考えるようにしていく事が重要。
4. 来年度の抱負 (目標)

全日本選手権での優勝が目標です。



レスリング フリースタイル 86kg級
門 間 順 輝 (秋田市消防本部)
秋田商業高校 - 日本体育大学

1. 今大会の結果について

3年前の国体に出場して、今年まで試合には一切出場していなかった。指導する高校生に試合に望む姿勢を見せることによって、そこから少しでも何かを感じてもらえたらと思って出場を決心した。試合においては、自分のペースに相手を引き込み、最終持ち味を發揮できた結果が優勝につながった。出場にあたり、プランクがあった分、体力を戻すことは辛かったが、応援・協力いただいた協会や職場の方々の期待に応えることができてよかったと思う。
2. スポーツ王国秋田を作る為にならなければいけないことは (①自分ができること ②みんなが取り組むべきこと)
 - ①自分が今まで経験してきたものを伝えること。
 - ②指導現場だけでなく、組織が一体となった強化。
3. 秋田で競技をしているジュニアアスリートへ日本一になるためにどのようなことをしたら良いのかアドバイス

世界に目を向けることで、どのような練習が必要かわかると思う。諦めない気持ちと自分で限界を決めずに目の色を変えるくらいの気持ちで練習を頑張ること。ジュニア世代は未来の秋田のスポーツを引っ張っていく世代。1日1日を大事に過ごしてもらいたいと思う。
4. 来年度の抱負 (目標)

秋田のレスリングを牽引してきた諸先輩に続けるよう、努力を重ねて2連覇を狙いたい。



レスリング グレコローマンスタイル 98kg級
大 坂 昂 (三菱電機株式会社)
秋田商業高校 - 早稲田大学

1. 今大会の結果について (①感想、②勝因、③苦しかった点)
 - ①レスリング競技のスタッフは、私が高校時代にお世話になった人ばかりでした。そのスタッフの前で優勝でき、成長した姿を見ることができて嬉しいと思います。
 - ②背伸びせず、自分の実力を發揮することだけを考えました。
 - ③1年間腰痛で悩まされていて、負けが続いていました。この大会は勝ちにこだわっていたのでプレッシャーで押しつぶされそうでした。

2. スポーツ王国秋田を作る為にならなければいけないことは (①自分ができること ②みんなが取り組むべきこと)
 - ①来年のリオデジャネイロオリンピックに出場して、秋田のスポーツを盛り上げます。
 - ②目標に向かって努力しているアスリートの応援をお願いします。
3. 秋田で競技をしているジュニアアスリートへ日本一になるためにどのようなことをしたら良いのかアドバイス

毎日少しずつ目標に向かって努力してください。
4. 来年度の抱負 (目標)

リオデジャネイロオリンピック出場。



10000 m競歩
小 林 快 (ビックカメラ)
秋田工業高校 - 早稲田大学

1. 今大会の結果について (①感想、②勝因、③苦しかった点)
 - ①この大会に選んでもらえなければ、そしてたくさんのサポートが無ければ、優勝することはできませんでした。まずは選手として選んでくださった関係者の方々、そしてサポートや応援をしてくださったたくさんの方々、ありがとうございました。
 - ②暑かったことが最大の要因ではないかと思えます。暑さには自信があったので、周りがけん制し合う中、前半から積極的に自分のペースを刻んでいったのが功を奏しました。今回は審判のジャッジも厳しかったようですが、夏合宿を通してフォームを改善したおかげで、失敗を恐れることなく歩くことができました。
 - ③私だけではありませんが、社会人選手のほとんどは2週連続での試合で疲労が溜まっており、フレッシュな学生相手に戦うのは大変でした。その疲労のせいか、後半上がりきることができず、後ろとの距離を離すことができませんでした。
2. スポーツ王国秋田を作る為にならなければいけないことは (①自分ができること ②みんなが取り組むべきこと)
 - ①スポーツ王国というからには、秋田でスポーツをする選手たちの目標となる選手がいることが必要です。その中で私が出来ることはもちろん、結果を残すこと。秋田から世界へと羽ばたく姿を見せてたくさんのアスリートを目指す子供たちの模範となるよう、今後も結果を残していけるように頑張ります。
 - ②スポーツをする環境作りが大切だと思います。指導者の育成や各スポーツを行う会場の設備はもちろん、社会人が競技を続けられる職場が必要であると思います。仕事として競技を続けられる環境が身近にあるということは、ジュニアアスリートの大きな希望にもなるはずです。また、子供たちが様々なスポーツに触れる機会を増やすことで、マイナースポーツも含めたたくさんの競技の中から、本人が自分に合ったスポーツを選ぶ手助けになるのではないかと思います。
3. 秋田で競技をしているジュニアアスリートへ日本一になるためにどのようなことをしたら良いのかアドバイス

「今の瞬間を夢のために使っているか」を常に考えてください。これは高校の頃、恩師の友友貴弘先生に教えてもらった言葉です。これは何も、常にやりたいことを我慢し、耐え続けると言っているのではありません。確かに、今この誘惑に負けたら、ここで我慢すれば、と耐えることも大切です。しかしそれ以上に、今やろうとしている練習が本当に力の向上につながるのか、この瞬間にそのトレーニングは必要なのか、と常に考えることで、自分に必要なことが見えてくるはずです。そう考えた結果、休むことが必要なら休めばいいし、今は遊んでもいいと思えば精一杯遊んでください。そうすればその競技を心から楽しみながら、競技力の向上を望むことができるはずです。
4. 来年度の抱負 (目標)

リオ五輪に出場することです。来年の2月と3月に、オリンピックの選考会があります。そこで優勝すれば出場が内定、3位以内で選考対象になることができます。国体に比べ、距離も倍になり、国体以上にたくさんの選手が出場します。国内男子のランキングでは5位と厳しい戦いではありますが、何とか出場権を勝ち取りたいです。

そして、リオは暑いと予想されます。出場ができた際には、暑さへの耐性を生かして、入賞目指して頑張ります。



平成27年度 全国高等学校総合体育大会 成績

主会期：7月28日（火）～8月20日（木）

開催地：和歌山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

順位	競技名(種目)	選手(学年)・学校
1位	フェンシング女子学校対抗	聖 霊 高橋 優月③津谷野々花③石綿 夢望②仙葉 楓佳②井関 彩加②
3位	レスリング55kg級	岩澤 侃 (秋田商業③)
	フェンシング女子エペ	佐藤 涼華 (秋田北鷹①)
5位	登山男子	秋 田 南 佐藤 優介③竹中 蒼③木下 雄輝②泉部 航太②
	なぎなた演技	大曲農業 荒川 映美③鈴木 有沙③
	バスケットボール ※ベスト8	能代工業 盛實 海翔③中村 碧杜③斉藤 大輔③小室 望海③大高 祐哉③ 高畑 陸③金久保 翔③柴田 一真③富樫 優汰③植村 太一③ 川崎 玄太③山田 柊人②児玉 海渡①
	レスリング ※ベスト8	秋田商業 菅原 幹太③岩澤 侃③木谷 柊斗③本間 賢志③後藤 大河③ 加藤 勝城③加賀谷優太郎③土橋 雄太②米澤 凌①山田修太郎① 安田 拓斗①
	ボート女子シングルスカル	金子明香里 (由 利③)
	レスリング84kg級 ※ベスト8	山田修太郎 (秋田商業①)
	フェンシング女子フルーレ	高橋 優月 (聖 霊③)
	柔道男子73kg級 ※ベスト8	高橋 諒 (秋田工業③)
	ウエイトリフティング+105kg級スナッチ	古山 翔太 (金足農業③)
6位	弓道男子個人	渡邊 雄真 (新 屋③)
7位	ウエイトリフティング+105kg級ジャーク	古山 翔太 (金足農業③)
	ウエイトリフティング+105kg級トータル	古山 翔太 (金足農業③)

優勝インタビュー

聖霊高校女子フェンシング部 女子学校対抗 優勝（5年ぶり5回目）



高橋 優 月 3年
出身 外旭川中学校



石 綿 夢 望 2年
出身 聖霊中学校



仙 葉 楓 佳 2年
出身 城南中学校

Q1. 今大会の結果について

(高橋) 目標達成のために共に切磋琢磨してきた部員、優勝へと導いてくださった先生方、どんなときでも応援してくれた家族、全員で全国制覇が達成できたことを誇りに思います。

Q2. 今大会の勝因について

(高橋) チームワークです。一人ひとりの技術向上はもちろんですが、チーム全員が目標を高く持ち、練習ができる環境作りに努めました。先輩、後輩の関係ではなく、お互いに何がよかったか、何が足りないか具体的なアドバイスが言える関係を作りました。日頃から工夫して練習したことが、試合当日に大きな自信となりました。

Q3. 日ごろの練習で心がけていること

(石綿) 日々の練習で、いつも「全国制覇」を心がけています。インターハイ後も心機一転、初心に戻って、新たな目標に向かってがんばっています。

Q4. 普段の生活で気をつけていること

(石綿) 普段の生活が、試合に影響を与えます。スポーツ選手として、自覚をもって生活しています。

Q5. 今後に向けての課題

(仙葉) 3年生の先輩方が抜け、新しいチームとなりました。少人数で、しかも限られた時間の中で一人ひとりがいかに集中して、高い目標に向かって努力していくことができるか。

Q6. 今後の目標

(仙葉) もちろん、次の「全国制覇」です。今回の成績に満足している時間はありません。さらに上をめざして、日々精進していきます。



[写真提供：秋田魁新報社]



中学生強化選手競技力向上研修

『ハート (気持ち)』『ブレイン (思考)』を高める

平成27年8月29日(土)・30日(日)の2日間にわたり、秋田市太平山自然学習センター「まんだらめ」において資質の向上を目指した合宿研修を開催。総勢77名の強化選手を対象に、現役オリンピックによる目標に向かう姿勢や考え方のレクチャー、アナウンサーとプロカメラマンの協力によるメディアの前での立ち居振る舞いなど、その資質をさらに磨くため、様々なプログラムを実施した。



初対面でのチーム作業



チーム全員の考えを一つにまとめて発表



プロのマイクとカメラに緊張!?



言われることなく率先して作業を分担



モチベーションが上がれば目線も上がる



どんなに疲れても勉強熱心

研修プログラム

日時	1日目 8月29日(土)	2日目 8月30日(日)
6:30		【 散歩 】 (6:30~7:00)
7:00		【 朝食・身支度 】 (7:00~8:00)
8:00		【 掃除・整理・チェック・移動 】 (8:00~8:40)
9:00	【 開場・受付 】 (8:30~9:00) 【 荷物搬入・諸準備 】 (9:00~9:20) 【 開講式・ガイダンス 】 (9:30~10:00)	【 コンディショニングプログラム 】 (8:45~9:45) ウェイクアップエクササイズを行い、生活のメリハリを持ち、1日の研修に集中するための準備時間。
10:00	【 メディアドレッシング 】 (10:00~) 自分のことを正確に、あるいは素直に相手へ伝えられているかを実践を通して確認する。	【 休憩 】 (9:45~10:00) 【 マナー 】 (10:00~11:00) 秋田の看板を背負った代表者として、あらゆる場面で対応できるように、今、学んでおかなければいけない考え、見方、接し方を磨く。
11:00	【 コミュニケーション 】 (~12:00) 初対面でも躊躇せずにしっかりと自分の事を話せるかや、自分がどのくらいコミュニケーション能力があるのかを知る。実際にチームで課題に取り組み、互いに協力し合いつつの答えを生み出すためのコミュニケーション方法を学ぶ。	【 休憩 】 (11:00~11:15) 【 メンタル ~本番カ〜 】 (11:15~12:45) 大会などの本番で、普段の練習と同じようにパフォーマンスを発揮できるように、いかに集中するかについてを学ぶ。
12:00	【 昼食・休憩 】 (12:00~13:00)	【 昼食・休憩 】 (12:45~13:30)
13:00	【 水分補給について 】 (13:00~13:30)	
14:00	【 プレゼンテーション 】 (13:30~14:30) 自分が伝えたいことを、体全てを使って、相手にわかりやすくかつ印象的にアピールする方法を学ぶ。	【 モチベーションプログラム 】 (13:30~15:00) オリンピックの物事に対する考え方や経験などを聞き、自分の目標に対する道筋をより具体的なものと浮き出させる。また、今の自分から出来ることや足りない点、これからの自分への可能性を認識し、明日へのモチベーションを引き上げる。
15:00	【 館内説明 】 (14:30~15:00) 【 休憩 】 (15:00~15:15)	【 プロモーション 】 (15:00~15:30) 【 開講式 】 (15:30~16:00)
16:00	【 Teamビルディング(夕食) 】 (15:15~18:30) 共通の課題達成に向け、初対面の仲間も含めチームで話し合い、協力し合い、同じベクトルを持つことや団結を維持するためにそれぞれが役割を意識して行動する。	
17:00		
18:00		
19:00	【 入浴・休憩 】 (18:30~20:00)	
20:00		【 持ち物 】 ・強化選手手帳(※第8期指定選手のみ) ・指定ポロシャツ(黄色)※当日受付時に着用 ・室内・外用シューズ(それぞれのスポーツシューズ) ・学習用一式(学校から出された宿題等持参して構いません) ・着替え・洗面用具一式・保険証のコピー・常備薬(その他、各自合宿に必要なもの(研修中は宿に付ける服袋、多量等を考慮して各自必要な分準備すること※洗濯機はありません)) ※ゲーム機等の合宿に関係無い物は一切持ち込まないこと、見つけた際は燃えるべき対処を行います。
21:00	【 学習プログラム 】 (20:00~21:30) 自分である学業においても他の生徒の模範となるよう、「勉強の仕方」を重点にし高校入試へのサポートを行う。	
22:00	【 フリー 】 (21:30~) 自習・交流 【 消灯・点呼 】 (22:30)	★日程は変更になる場合があります★

受講者からの感想

- ・団結力が高まってすごく達成感のある合宿でした。
- ・チームワークや自分の意志を伝える事が大切だと思った。
- ・強化選手という意識がさらに強くなった。
- ・今回の研修で、コミュニケーション能力が低いと分かった。

受講者からの意見・要望

- ・学校の勉強をする時間を作ってほしい。
- ・学年別にやってほしい。
- ・研修に来た意味を理解しようとしていない人がいて真剣に取り組んでいる人に迷惑がかかるので、一人一人の資質を向上させたいと思う。

ジュニア育成アドバイザーより

・松本 宗也

この研修で貴重な経験を積んでもらい、将来秋田から世界へ羽ばたく選手、人間として輝いてもらえるよう、今回も研修内容を用意しました。自分自身で振り返り、できなかった事を「次は出来るよう」にと自ら考え行動することが大切です。今後も、人としても選手としても成長し戦えるアスリートを育成するプログラムを用意していきます。皆で一緒にがんばっていきましょう。

・原 文俊

今回の研修では、新しい取り組みの一つとして、グループでの野外炊飯を通してそれぞれのコミュニケーション力を観察してみました。初対面同士のグループでも、それぞれが自然に役割分担をして時間内に目標を達成出来ていました。今回のように積極的に行動をして、競技はもちろん私生活などすべての面で、アスリートとしてこれからさらに頑張ってもらいたいと思います。



第9期秋田県中学生強化選手指定証交付式

【秋田県中学生強化選手制度】

本制度は、将来全国規模の大会で上位入賞することができるよう、競技力および資質の向上を目的としており秋田県知事、秋田県教育長、秋田県体育協会会長の3者連名で指定するもので、平成二十三年度から始まった。

指定された選手は各競技団体主催の合同練習の他、教育プログラム合宿（マナー、栄養指導、学習支援等）への参加や医・科学サポートなどを受けることができる。



秋田県体育協会 小笠原 会長より指定証の交付

平成 27 年 11 月 28 日（土）、秋田市北部市民サービスセンターにおいて第9期秋田県中学生強化選手指定証交付式を挙行政した。

今回は陸上競技、サッカー、バレーボール、ソフトテニス、相撲、フェンシング、ラグビーフットボールの7競技 46 名が指定された。米田 進 教育長は「これからトップアスリートを目指すため、今後は競技技術以外の様々な面も学んでもらう。是非皆さんには、檜舞台で活躍できるよう大きな夢を持って取り組んでもらいたい。学校の学習においても他の中学生の模範となるよう、強化選手として自覚と誇りを持って、これまで以上に頑張ってもらいたい。2020 五輪で活躍することは夢ではない。希望をもって一生懸命努力してほしい。これから皆さんがさらに大きなステージで活躍する立派な選手に成長することを、心から期待している」と激励。



秋田県教育委員会 米田 教育長より激励

選手を代表して、熊谷 魁（くまがい かい・陸上競技・秋田西中3年）選手が「この指定を誇りに、指定選手としての自覚を持ち、個々の競技力を高めるとともに、学習面・生活面においてもふさわしい行動をとり、秋田そして日本を代表する選手となれるよう頑張る。また、常に向上心を忘れず、日々の練習に全力で取り組み、たくさんの人から応援してもらえる選手を目指す。支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、2020 年東京五輪を目標に仲間とともに努力を継続していく」と力強く決意を示した。



熊谷 魁 選手が決意表明

交付式の後にメディカルチェックを行い、採血検査及び身体検査が行われた。前回指定の未受診者も含め 45 名が受診し、年代特性に応じた様々な項目を最新機材も用いて、ドクター 12 名の他多数のスタッフの協力のもと実施。

今後は、この結果を本人・保護者、指導者へフィードバックしていく。



採血検査



関節可動域のテスト



年代に合わせた超音波チェック



体幹バランステスト



ジャンプテスト

【インタビュー】①今年はどうなシーズンでした？ ②どんな選手を目指していますか？



伊藤 暉（大館市立東中1年）：相撲

- ①全国3位になった強豪田代中学校に団体戦で1勝取れたことは自信になった！
- ②来年は後輩もできるの、周りの生徒たちも含め、その手本になれるように頑張ります！



小玉 永翔（泉中1年）：サッカー

- ①最終戦の方で調子が上がってきたので、来年は最初から全力で戦えるように整えたい！
- ②誰にも負けない選手になりたい！





秋田県総合型地域スポーツクラブ ヒューマンエラー防止研修会

総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の関係者等を対象に、ヒューマンエラー防止研修会が、10月16日（金）、秋田県スポーツ科学センターで開催され、60人を超える参加者が全県から集った。

主催は、公益財団法人日本体育協会及び総合型地域スポーツクラブ全国協議会。公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受け、県体協と秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が運営した。

この研修会は、心理的アプローチからリスクマネジメントを学ぶことで、「ヒューマンエラー（事故や損害の原因となる人為ミス）」の防止に係る意識の啓発に役立てることを目的としている。

当日は、高知大学の矢野宏光准教授による講義のあと、7つの小グループに分かれて活発なディスカッションが行われた。

受講者の感想

かみこあに総合型クラブスマイル

会長 鈴木善彦

今回の研修会には、クラブよりマネジャー等5名参加させていただいた。

これまでスポーツにおけるケガ等のリスク、財源等の経営、運営上のリスクなど、リスクマネジメントについての研修は受けて来た。

「ヒューマンエラーの防止」聞きなれない言葉であった。

ヒューマンエラーとは、事故やトラブルを引き起こす「人間の失敗」？難しそうだが興味をそそられた。

クラブ名は、「スマイル」。「Be all smile ・スポーツをみんなで楽しもう！ ・笑顔いっぱいのクラブにしよう！ ・スポーツで笑顔あふれるまちづくりをしよう！」そんな思いが込められたクラブ。「活動はとにかく楽しく」がモットーである。

仕事柄すべての活動を見て歩くことはできない。運営委員会やクラブマネジャー会で状況を把握している程度である。聞けば、楽しくやっているな、がんばっているな。よかったな。その程度でしか考えていなかった。

しかしどうだろう、会員それぞれの関係は本当に良好なのだろうか。クラブマネジャー会の計画等を運営委員にただ押し付けているのではないだろうか。また、逆に運営委員がなんでもクラブ

マネジャーに頼りすぎではないだろうか。

さらに、直接、活動に携わっている運営委員と会員（実施者）の関係は良好なのだろうか。ふと、研修中考えてしまった。

それぞれがコミュニケーションをとるために、言語は5～7%程度にすぎない。非言語的部分が90%も占めているらしい。ジェスチャー、表情、目の動き、態度。今まであまり意識していなかった部分を含めて考えると、「会議で話を聞く態度は、みんなの意見をうまく引き出せたのか、委員全員の意見としてまとまったのか、こちらの思いを一方向的に進めたのでは」等反省することばかりで、研修会で得た知識を今後のクラブ活動等にどう生かしていくか、考えていきたい。この研修会は、クラブのみならず、私個人としてもスキルアップできる貴重な機会であった。

受講者の感想

NPO法人よこてスポーツクラブ

クラブマネジャー 中野智香子

「ヒューマンエラー」という言葉が、普段あまり耳にすることも口にすることもなく、しかしクラブを運営していく上で、とても大事なことを学ぶことができるような期待を抱きながら参加させていただきました。

高知大学の准教授、矢野氏による午前の講義では、集団の概念、組織の人間関係、そしてエラーを減らすための工夫やアドバイスなどを学ぶことができました。その中で、一番心に残ったのは、コミュニケーションをとって良好な人間関係を構築することがヒューマンエラーの防止につながるということです。

私たちは普段、スポーツクラブという集団で活動し、職場というひとつの組織に身を置いて生活しています。幸い、会員間でのトラブルもなく、職場でも良好な人間関係であると自負していますが、いつどこでどのようなエラーが起こらないとも限りません。起こって当たり前といっても過言ではないと思います。しかし、たくさんの会員の方々が活動し、体育館を後にするとき、いかに気持ち良く爽やかな気持ちになっていただけるか、それは我々次第であると思います。

「今日もすごく楽しかった」「いい汗流せて良かった」という言葉を聞くと、とても安心するとともに、油断せず気を引き締めなければと思います。そして、会員と会話をしコミュニケーションを多くとることがエラーの防止につながると改めて感じることができました。参加させていただきありがとうございました。



グループごとのディスカッション



平成28年9月秋田大会開催に向けて 日本スポーツマスターズ2015石川大会視察報告

来年9月、日本スポーツマスターズ2016秋田大会が開催される。今年は、第15回大会が石川県で開催され、本県からも選手・監督等が参加したほか、来年の開催に向けて各競技団体から多数の視察員が訪れた。

石川大会は、9月18日～22日の5日間を主会期とし、金沢市をはじめ8市5町の30会場に、約8000人の選手・監督等が集った。秋の大型連休の中、北陸新幹線開業で注目を集めている石川の各地は活気と賑わいにあふれていた。

実施された競技は全部で13競技。本県からは10競技に118名がエントリーし、全国から集まった選手や日韓スポーツ・成人交流で訪れた韓国選手団とともに、日頃の練習の成果を競い合い、親睦を深めた。

各競技の運営は、開催県の競技団体が担う。競技団体は、競技の円滑な進行、練習会場の運営、選手の登録や受入の事務、文化探訪の実施、輸送・宿舎・食事等の一次窓口等として、その役割は大きい。

秋田大会は、各競技団体、県、市町、県体協等関係機関のチームワークで、笑顔あふれる大会としたい。

視察報告

秋田県バスケットボール協会

千葉 俊彦 ・ 木村 哲也

シルバーウィーク期間中に開催されました「日本スポーツマスターズ2015石川大会」は天候にも恵まれ、競技別開始式から表彰式までの全期間を視察させていただくことができました。

石川県での本大会開催は、平成23年以来、4年ぶり2度目ということで、多くの運営ノウハウを有していることから、来年の秋田大会に向けて、参考にさせていただく部分が多かったものと感じております。

大会では、競技志向の高いシニア世代の参加者が、会場地市の温かい受け入れのもと、スポーツに親しみ、大会を楽しんでいる姿が印象的でありました。

男子の部で、2連覇した神奈川県Aチームの中心選手として、日本代表時代と違わぬ活躍をしていた205cmのワイス選手を筆頭に、日本リーグなどで活躍していた選手を擁するチームもあり、往年のバスケットボールファンにとっても魅力ある大会だと感じました。

一方、女子の部で、3連覇した埼玉県Aチームは、全く年齢を感じさせないスピードとスタミナがあり、それを武器に秋田大会での4連覇を目指しているとのことでした。子どもを能代工業高校へ入部させていた選手もあり、秋田県内の状況を把握している中で、宿泊地などについての要望も受けてまいりました。

大会期間中は、石川県バスケットボール協会、及び会場地の小松市・加賀市の各セクション責任者の方々と「引き継ぎ」に近い形での情報交換をし、大会準備から日韓交流事業を含めた競技運営までに関わる資料等を提供いただきながら、今後も随時、指導をしていただくことになりました。

さらに、日本バスケットボール協会との懇談では、

本大会の課題でもある競技規則の遵守や、選手の負傷に対する迅速な対応等をはじめ、全ての面においてレベルの高い秋田大会にしてもらいたいとの助言もいただきました。

これらを踏まえ、秋田大会に向けては、会場地市町と競技団体が一体となって、‘おもてなしの心’で迎え入れる準備を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。



韓国選手団との記念写真

－ 日本スポーツマスターズ2016秋田大会 －

主会期 9月23日(金)～27日(火)

実施競技 水泳(男女)、サッカー(男)、
テニス(男女)、バレーボール(男女)
バスケットボール(男女)、
自転車競技(男女)、ソフトテニス(男女)
軟式野球(男)、ソフトボール(男女)
バドミントン(男女)、空手道(男女)
ボウリング(男女)、ゴルフ(男女)



北都銀行女子バドミントン部紹介

～ 紀ノ国わかやま国体2位～

創部43年目を迎えた北都銀行女子バドミントン部は、国内最高峰の団体戦である日本リーグ1部に参戦しており、本県で唯一1部（トップリーグ）に所属するチームである。10月31日に開幕した日本リーグ2015では、初戦で昨年度の覇者であるNTT東日本を撃破、続く広島ガスにもストレート勝ちし、開幕2連勝を飾った。今シーズンは悲願の優勝を目指している。日本のトップレベルのチームでありながらその活動は多岐にわたっており、特別支援学校や各地域でのバドミントン教室の開催、東日本大震災復興支援活動など、多くの社会貢献活動を行っている。

特に、ジュニアの育成に力を注いでおり、小・中・高を対象としたバドミントン教室を週2回開催するなど競技力向上にも寄っている。

今年のわかやま国体では決勝で惜しくも敗れたものの見事準優勝に輝いた。若い選手が多く、まだまだ発展途上にあるチームだけに今後の成長が大いに期待できる。多方面にわたって活躍している同部は、県内のバドミントン選手だけでなく、多くの県民に感動と勇気を与えている。

選手紹介



左上から

- 松本 麻佑（北海道出身－とわの森三愛高校）2年目
- 米元 小春（広島県出身－青森山田高校－パナソニック）3年目
- 村山 祐美（東京都出身－埼玉栄高校－北翔大学）5年目
- 中村 優里（鹿児島県出身－青森山田高校）1年目
- 永原和可那（北海道出身－青森山田高校）2年目

左下から

- 永田 麗（熊本県出身－青森山田高校）2年目
- 早川紗保里（栃木県出身－富岡高校）3年目
- 楠瀬 由佳（高知県出身－高知西高校）10年目
- 田中 志穂（熊本県出身－青森山田高校－法政大学）1年目
- 浦谷 夏未（滋賀県出身－尚志高校－専修大学）1年目

スタッフ紹介



原田 利雄
監督



ヌマン・スバンドロ
ヘッドコーチ



三好 奈緒
コーチ



国民体育大会 米元・田中選手

平成 27 年度 大会スケジュール	
3/31～4/5	大阪インターナショナルチャレンジ 2015 (大阪府)
4/18～19	第 33 回東北実業団選手権大会 (岩手県)
5/15～20	日本ランキングサーキット大会 (埼玉県)
7/1～5	第 65 回全日本実業団選手権大会 (京都府)
8/21～23	国民体育大会東北予選会 (岩手県)
8/28～9/2	第 58 回全日本社会人選手権大会 (福岡県)
10/2～5	国民体育大会 (和歌山県)
10/31～2/14	日本リーグ 2015 (全国各地)
11/30～12/6	全日本総合選手権大会 (東京都)

この他にも各種大会への参加や海外遠征、国内遠征等で強化合宿を行っています。



国民体育大会 楠瀬選手



北都ジュニア バドミントンクラブ クラブ会員募集中

本クラブはジュニアのレベル向上、協調性、行動力を養うと共に、バドミントン競技の普及・発展、及び県内のスポーツ人口の底上げを図ることを目的とします。

- 募集対象者 小学生・中学生・高校生（初心者・経験者を問いません）
- 講師 北都銀行男女バドミントン部員が指導いたします。（外部より講師を招く場合があります）
- 講習日程 週2回（原則、月曜日、水曜日の18時～21時まで）

*但し、学校のスケジュール（夏休み・冬休み等）及び講師の大会等のスケジュールにより変更になる場合があります。

北都銀行人事部 原田・三好 TEL 018-833-4211 内線 4720、4721
北都銀行バドミントン部公式サイト <http://www.hokutobank.co.jp/badminton/>



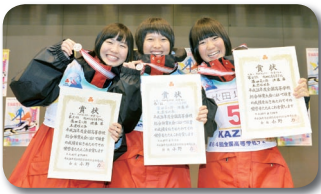
〔写真提供：秋田魁新報社〕



まもなく冬本番！スキー競技の展望

インターハイスキー競技(青森県)・国民体育大会冬季大会(岩手県)

県内各地で初雪も観測され、冬本番を迎えようとしています。ウィンタースポーツもまた今年も白熱するであろうシーズンインを目前にひかえております。雪国秋田の冬のスポーツ界を牽引するスキー競技の今シーズンの展望を紹介します。



IH昨年準優勝の北鷹チーム

全国高校総合体育大会（インターハイ）スキー競技は、平成28年2月4日～8日の日程で青森県を主会場に開催される。クロスカンントリー競技では5kmフリーで昨年1年生ながら準優勝の成田生絵（十

和田高2年）が今年は優勝を狙うが、国体少年女子5kmクラシカルで準優勝の藤田菜々瀬（秋田北鷹3年）との県勢同士の優勝争いの可能性もあり目が離せない。その藤田を擁する秋田北鷹の女子リレーは佐藤葵（同3年）と土濃塚世奈（同2年）のメンバーで昨年準優勝をしており、今年は表彰台の頂点を目指す。その秋田北鷹を筆頭に、全国中学総



IH女子5kmフリー、2位に入った成田生絵(十和田)

体で入賞した児玉滯香をメンバーに加えた昨年3位の花輪、エース成田を軸として上位進出を狙う十和田と、本県高校の女子リレーのレベルは高い。

アルペン競技では昨年男子ジャイアントスラロームで4位の日高大樹（角館3年）と女子スラロームで10位の齊藤実祐（同2年）の角館勢の活躍に期待したい。

昨年度全国中学校体育大会で活躍し



連覇のかかる女子リレー(昨年アンカー石垣寿美子)

た選手にも注目したい。5kmクラシカルで準優勝の土濃塚悠成（合川中出身）は秋田北鷹で1年生ながら全国高校総体で上位進出を目指す。秋田北鷹の伝統のリレーでも、もちろんメンバー入りを果たし



世界大会での活躍が期待される湊祐介

チームを牽引する活躍をみせるであろう。ジャンプコンバインドで全国の頂点に立った宮崎敬太（尾去沢中出身）は、同じ花輪高2年で昨年国体・5位入賞の木村吉大や、実力者の湯瀬瞬（小坂2年）に挑む。土濃塚、宮崎の高校デビューが楽しみである。

第71回国民体育大会冬季大会スキー競技は、平成28年2月20日～23日岩手県で開催される。昨年度は、スキー競技皇后杯（女子総合）で前人未踏の6連覇を僅



団体連覇を狙う生田康宏

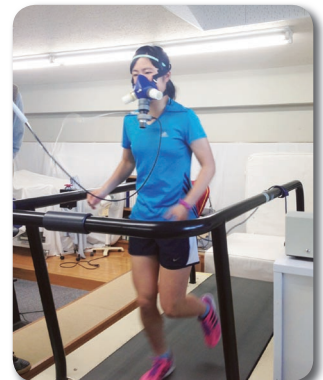
差で逃したが、女子リレーでは鮮やかな優勝を飾った。今年もエースの石垣寿美子（秋田ゼロックス）と高校生メンバーで連覇を狙い、皇后杯への新たな挑戦が始まる。アルペン競技成年男子の生田康宏（東京美装興業鹿角事業所）も連覇を狙う1人である。昨年不振だったアルペン女子元全日本学生チャンピオンの向川桜子（秋田ゼロックス）の復活に期待したい。ジャンプ・コンバインドでは高橋大斗が昨年度の国体のスペシャルジャンプ優勝を最後に現役引退を表明したが、昨年成年男子Bコンバインドを制した湊祐介（東京美装興業）が世界に挑戦しつつ、出場すれば国体連覇が期待される。昨年度の国体では成年勢が執念を見せたが、今年は少年、成年共に結束し、チーム秋田の底力を見せて欲しい。



全国中学5kmクラシカル準優勝の土濃塚悠成



全国中学複合を制した宮崎敬太



秋田県スポーツ科学センターで体力測定をする藤田菜々瀬

【秋田県スキー連盟 田口 将 競技本部長より】

昨年度の国体では皇后杯は逃したものの概ね健闘したと評価できる。近年は3つのセクション共に総合力で戦える力は備わってきているが、3強（北海道、長野、新潟）とは僅差の戦いが続いており、取りこぼしがポイントに大きく響く。今年の岩手国体では一発勝負の要素があるアルペンの出来が鍵を握る。



今年ナショナルチーム入りしたスペシャルジャンプの馬淵源（秋田ゼロックス）と松橋亜希（マンマーノフード）ら世界を視野に入れて戦う選手達にも注目していただきたい。特にスノーボードクロス寺山香織（鹿角スキー連盟）もナショナルチームの一員として11月から欧州遠征に入り、平昌（ピョンチャン）五輪を目指してワールドカップも転戦予定で活躍が期待される。

選手達には国内のみならず、世界を舞台に戦える選手に成長するためのシーズンにしてもらいたい。

【写真提供：秋田魁新報社】



いざ、冬の陣!

12月20日の全国高等学校駅伝競走大会を皮切りに、高校生スポーツ冬の陣が開幕する。出場する各高校のチーム状況と大会への抱負を紹介する。

全国高等学校駅伝競走大会 (男子) 秋田工業高校 (3年連続21回目) 松尾 淳之介 キャプテン

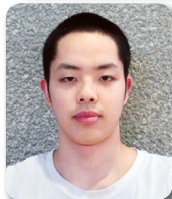


10月18日の県予選では「先輩を超える」というテーマのもと、コース新記録を出すことができましたが全国レベルで勝負できるタイムではありませんでした。全国高校駅伝までにチーム全員が今まで以上に高い意識で生活・練習に取り組み、課題を一つずつ潰してレベルアップを図っていきたいと思います。

そして、今まで応援して下さった方々やサポートして下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、全国高校駅伝では自分たちが今までやってきたことを信じて攻めの「全員駅伝」で戦います。



全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(男子) 能代工業高校 (46年連続46回目) 盛實 海翔 キャプテン



ウインターカップ県予選を勝ち抜き、秋田県の代表として全国の舞台で戦えることを嬉しく思っています。本戦に向けてシュートの精度とディフェンス力に力を入れて練習に取り組んでいます。ウインターカップは3年生にとって最後の大会となるので、3年生が中心となり、チーム全員が「結束」して全力で

試合に向かいたいと思います。今まで支えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れずに、一戦一戦全力で戦います。能代工業らしいプレイを東京体育館のコートで発揮し、悔いのないように日本一を目指して頑張ります。



全国高等学校駅伝競走大会 (女子) 花輪高校 (4年連続9回目) 三ヶ田 楓 キャプテン



今年も全県高校駅伝で優勝することができ、4連覇を達成しました。大会までの過程では、怪我などで不安となることがあったけどとても嬉しく思いました。チーム全員が駅伝の伝統校であるという強い意識を持ち、意地を出して攻めた結果であると思います。

その中でも、チーム・個人ともに課題が見つかり、それを克服するために1人1人が日常生活の中から走れる状態づくりに意識を合わせ、練習に励んでいます。全国高校駅伝では、8位入賞を目標に掲げて練習を継続してきているので、そこに果敢に挑戦していく積極的な走りをチーム全体で展開します。今年度のチームにしかできない駅伝で花輪高校の伝統をさらに大きく築き上げられるように頑張ります。ご声援をよろしくお願い致します。



全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(女子) 湯沢翔北高校 (7年連続15回目) 佐々木 怜音 キャプテン



インターハイ、国体と課題を痛感させられ、最後の全国大会であるウインターカップにはどうしても出たかったので、出場権を獲得できてほっとしています。

大会に向けて、ミドルシュートの精度を上げ攻撃の成功率を向上させること、長身者に対する防御を強化すること、リバウンドの獲得率を高めることなどを重点として練習に取り組み、個人としてもチームとしても貪欲に成長を求めます。また、「日本一になりたいから日本一と評価される要素を身につける」という意識で取り組んできたオールコートの防御に磨きをかけ、どんな状況でも果敢に戦えるように準備したいと思います。

ウインターカップで3年生の大会は終了します。だからこそ1年から3年まで、チーム全体が一丸となって戦いに臨みたいと思います。一戦集中で頑張ります。





- 全国高等学校駅伝競走大会 12月20日 京都府 京都市西京極総合運動公園陸上競技場
- 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 12月23日～29日 東京都 東京体育館
- 全国高等学校ラグビーフットボール大会 12月27日～1月7日 大阪府 近鉄花園ラグビー場
- 全国高校サッカー選手権大会 12月31日～1月11日 埼玉県 埼玉スタジアム2002
- 全日本バレーボール高等学校選手権大会 1月5日～1月10日 東京都 東京体育館

全国高等学校ラグビーフットボール大会
秋田中央高校（2年連続10回目）
 本城 玄キャプテン



花園予選を終えて、第一にこのチームの仲間とまだラグビーができることを嬉しく思います。また、花園予選を優勝することで今まで仲間と苦しい思いをしてやってきた毎日の練習が間違っていなかったと改めて感じる事ができました。花園大会までは、約一ヶ月あります。それまでもう一度プレーを見つめ直し、フィットネス・タックル・パス・キックといった基本スキルのレベルアップを図りたいと思います。さらにこれまでのモールを武器にしたスローテンポラグビーだけでなく、全国に通用するようなボールを高速に動かすアップテンポラグビーも準備したいと思います。残りの一ヶ月、今までの自分たちに慢心することなく秋田中央高校のラグビーを貫きます。目指すは、優勝。



全国高校サッカー選手権大会
秋田商業高校（2年ぶり41回目）
 山本 隼キャプテン



秋田県予選では、決勝まで順調に勝ち進みました。西目との決勝では、雷が発生したことにより前半30分で順延になるという今まで経験したことのない試合をチーム全体で乗り越え、1対0で勝利し、優勝することができました。今大会は1人1人のコンディションが良く、中断があり、難しい状況ではありませんが、モチベーションも高く、この1年で一番良い雰囲気ゲームができた事が勝因だと思います。

全国大会という舞台は予選とは全く雰囲気が違いますが、今までのチーム力をベースに残りの1ヶ月で、スタミナ、技術、メンタル面において意識高くトレーニングを積み重ね、最高の準備をして、初戦をむかえたいと思います。

初戦の相手は徳島県代表の鳴門高校に決まりました。鳴門高校は守備が固く、攻撃力も全国レベルです。集中力を切らさずに相手より多く走り、気持ちの面でも圧倒し、勝ちたいと思います。秋田県はこの大会で10年間初戦を突破できていません。今年は必ず勝ち、少しでも上の舞台で勝つことを意識し、秋田県の代表の名に恥じないようにしっかりと戦いたいと思います。



全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・男子)
雄物川高校（21年連続21回目）
 鈴木 祐貴キャプテン



県予選を終えて、春高バレー本戦出場の切符を手にすることができてホッとしています。これからは、もう一度気を引き締め直して練習に臨みたいですね。全国のどのチームも3年生にとって最後の大会になるので、懸ける想いが一段と強いでしょう。したがって、私たちも大会までチーム全体が1つになるように緊張感をもち士気を高めていきます。去年は初戦で敗退し、とても悔しい思いをしたので、今年は少しでも多くの試合を勝ち進んでいけるようにチームを牽引していきます。これまでプレーを続けられたのも地域の方々の支えやいつも叱咤激励してくれる親のおかげであると思います。応援してくださる全ての方々への感謝の気持ちを胸に全力で戦ってきます。



全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・女子)
由利高校（2年ぶり26回目）
 東海林 遥キャプテン



この度、春の高校バレー秋田県予選会で秋田北高校にセットカウント3-2で勝利し、全国大会へと駒を進めることができました。先輩方の雪辱を果たすために日々練習し、思いの強さで勝つことができたと思います。

全国大会の切符を手に入れた今、ここからが私たちにとっての本番です。私たちの目標はベスト8です。ただ出場するだけではなく、全国という舞台上で勝ち上がっていかなくてはなりません。また、8月に行われた近畿総体ではあと一步のところまで及ばず、敗退してしまいました。その悔しさと、ベスト8という忘れ物を取ってくるためにも、全力で戦い抜きます。伝統の「気魄」、信頼のバレーで一つでも多く勝ち上がることができるように「顔晴り」ます。応援よろしくお願ひします。





目指せ！ オリンピック！！

オリンピック出場に熱い闘志を燃やすアスリートを紹介



中田紫乃選手

鷹巣南中学校～秋田北高校

バレーボール部主将

ポジション：ウイングスパイカー

憧れの選手：木村沙織選手

今回ご紹介するのは、秋田北高校3年の中田紫乃選手です。

中田選手は、中学2年生から日本代表選手として毎年国際大会に参加し、2020年の東京オリンピックに向けて、その活躍が大きく期待される注目選手。

中田選手の更なるレベルアップとオリンピックへの出場を、県民みんなで応援しよう。

全国、東北、全県大会の主な実績

- 平成25年度東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 第2位
- 平成25年度東北高等学校新人バレーボール選手権大会 第2位
- 第68回東京国民体育大会（秋田県選抜チーム） 出場
- 平成26年度東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 第2位
- 平成26年度全国高等学校総合体育大会 出場
- 平成26年度全日本バレーボール高等学校選手権大会 出場
- 平成27年度東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 出場
- 第42回東北総合体育大会（秋田県選抜チーム） 第2位
- 第70回和歌山国民体育大会（秋田県選抜チーム） 出場

日本代表として参加した大会

- 平成24年度 第9回アジアユース女子バレーボール選手権大会
- 平成25年度 第13回世界ユース女子バレーボール選手権大会
- 平成26年度 第17回アジアジュニア女子バレーボール選手権大会
- 平成27年度 第2回世界U-23女子世界選手権大会
- 平成27年度 第18回世界ジュニア女子選手権大会（U-20）



バレーボール（少年女子）秋田選抜チーム

オリンピックに向けての抱負

私には2020年に日本で開催される東京オリンピックに出場したいという目標があります。この目標を実現するためには、自分自身の技術力、体力、精神面における更なる強化が必要だと感じており、また、それらの強化を図っていく上での努力の継続が重要だと思っています。

技術力強化における主な課題は、得点力を向上させていくこと、様々なポジションやプレーをマルチにこなせるようにすることです。得点力や対応力は、今後のバレー界で重要視されると思うので、代表選手になるためには、それらの求められる部分に対して意識的に取り組んでいくことが大切だと考えます。

体力、精神面においては、世界レベルの高さやパワーに対抗できる体づくりや常に良いパフォーマンスが発揮できるようなメンタリティーの習得に力を入れていきたいです。

向上心を持って努力し、大舞台上で戦えるようなチャンスを掴めるよう精一杯頑張ります。

（県体協からのお願い）

公益財団法人秋田県体育協会では、オリンピック・パラリンピック出場を目指して日々研鑽している郷土のアスリートを支援するため、県民の皆様からの募金による支援事業を計画しています。

選手本人が負担している強化に係る「合宿費」や「遠征費」などを支援できるよう、募金活動をおこなうものです。事業の詳細が決まりましたら、ホームページやチラシ等でお知らせしますので、皆様のご支援をお願いいたします。



県内スポーツの主なできごと

7月

- 29日 第42回日独スポーツ少年団同時交流によるドイツ団員9人が能代市に5日間滞在し友好を深めた
- 30日 秋田ノーザンハピネッツが、来年10月開幕のバスケットボール男子新リーグ（3部制）1部に決定
- 30日 第46回東北ブロックスポーツ少年大会が田沢湖スポーツセンターで開催（～8月2日）

8月

- 11日 聖霊高校フェンシング部が、近畿インターハイで5年ぶり5度目の優勝
- 16日 秋田商業高校野球部が、甲子園3回戦を勝利しベスト8入り
- 17日 第55回全国中学校水泳競技大会が秋田市で開催（～19日）
- 20日 秋田商業高校野球部成田翔投手が、U-18ワールドカップの高校日本代表選手に選出
- 22日 第45回全国中学校剣道大会が秋田市で開催（～24日）
- 26日 能代高校が、第60回全国高等学校軟式野球選手権大会で作新学院に0-2で破れ準優勝
- 29日 秋田県中学生強化選手競技力向上研修を秋田市で開催（～30日）

9月

- 2日 日本体育大学「集団行動」の合宿が男鹿市で実施（～9日）。秋田大学男鹿なまはげ分校と男鹿市が誘致
- 4日 第70回国民体育大会秋田県選手団結団式を秋田市で開催
- 13日 第2回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！が横手市で開催
- 18日 日本スポーツマスターズ2015石川大会が開催され、本県からは118名が参加。日韓スポーツ交流・成人交歓交流による韓国選手団195名とともに力と技を競い友好を深めた（～22日）

10月

- 1日 秋田県がチャレンジデー「笹川スポーツ財団特別賞」を受賞。スポーツによるまちづくりと県民の健康づくりへの取組が認められた
- 6日 第70回国民体育大会閉幕。秋田県は、天皇杯38位（昨年度42位）、皇后杯38位（昨年度40位）
- 16日 総合型地域スポーツクラブ「ヒューマンエラー防止研修会」を秋田市で開催
- 25日 日本体育大学が、三種町とスポーツ振興に関する連携協定を締結

11月

- 1日 秋田銀行女子バスケットボール部が、第11回全日本社会人選手権大会で優勝
- 1日 スポーツ少年団指導者研究協議会を秋田市で開催
- 21日 中学生強化育成事業「ジュニアアスリート指導者研修」
- 23日 第2回秋田県スポーツ指導者研修会
- 28日 第2回県競技力向上連絡協議会・第9期中学生強化選手指定証交付式



県スポーツ少年団指導者研究協議会での実技



秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を展開する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、教育又は科学の振興など公益の増進に著しく寄与できるものとして、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

寄付申込みをいただいた法人・団体、個人を御紹介します。(敬称は略させていただきます。)

【法人・団体】

株式会社アイネックス
 秋田いすゞ自動車株式会社
 秋田活版印刷株式会社
 秋田共立株式会社
 株式会社秋田銀行
 株式会社秋田グランドリース
 株式会社秋田ケーブルテレビ
 秋田県空手道連盟
 秋田県建設機械レンタル協会
 秋田県剣道連盟
 秋田県厚生農業協同組合連合会
 秋田県自動車販売店協会
 秋田県信用組合
 秋田県石油商業協同組合
 株式会社秋田鋼機工業所
 株式会社秋田国際カード
 株式会社秋田魁新報印刷
 株式会社秋田魁新報社
 株式会社秋田ジェーシービーカード
 秋田車体株式会社
 秋田新聞輸送有限会社
 秋田信用金庫
 秋田ゼロックス株式会社
 株式会社秋田中央機工
 株式会社秋田椿台ゴルフクラブ
 株式会社秋田デンカ
 株式会社秋田キャッスルホテル
 株式会社秋田放送
 あぎた保険工房
 秋田瀝青建設株式会社
 アシックス販売株式会社東北支社
 株式会社アテック
 有限会社アテザン
 有限会社碓谷建築
 株式会社石川組
 NPO秋田RG愛好会
 株式会社エフエム秋田
 有限会社エンドウ
 有限会社奥州食品

株式会社カガ三
 有限会社金子建設工業
 株式会社寒風
 北日本通商株式会社
 株式会社北日本ベストサポート
 キャタピラー東北株式会社秋田営業所
 医療法人久幸会
 医療法人敬徳会
 厚生ビル管理株式会社
 医療法人光智会
 株式会社光風舎
 有限会社小西タイヤ
 コマツ秋田株式会社
 株式会社サキガケ・アド・ブレーション
 株式会社さきがけ折込センター
 株式会社さきがけプラスA
 有限会社佐藤養助商店
 株式会社サノ・ホールディングス
 有限会社三協商事
 三和興業株式会社
 医療法人社団柔心会
 株式会社スーパートゥデイ
 株式会社菅与
 株式会社菅与組
 医療法人正和会
 有限会社石心
 株式会社セコー
 瀬下ワールドファミリー会
 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部
 株式会社大雄建設
 田沢湖高原リフト株式会社
 有限会社田中土木
 タプロス株式会社
 株式会社テーエムシー
 東京美装興業株式会社鹿角事業所
 有限会社東立
 DOWAホールディングス株式会社秋田事業所
 株式会社トヨタレンタリース秋田
 株式会社トリニティ

中田建設株式会社
 株式会社仲村保険サービス
 西村土建株式会社
 株式会社NIPPO秋田統括事業所
 有限会社ぬまくら
 長谷川体育施設株式会社秋田営業所
 株式会社八郎瀧印刷
 花岡土建株式会社
 東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所
 株式会社備品レンタルセンター秋田営業所
 有限会社深沢電装
 株式会社福井
 有限会社ふじエンタープライズ
 株式会社藤通商
 株式会社フジモト
 株式会社フローリスト春花
 有限会社ぶんねん自動車
 ベストラベル大曲営業所
 有限会社ベストモーターズ
 北秋生コン株式会社
 株式会社北都銀行
 堀江建材株式会社
 ホワイト歯科医院
 有限会社前田商店
 マルト建設株式会社
 有限会社丸ノ内サービス
 三国商事株式会社
 みちのくコカ・コーポリング株式会社秋田営業所
 三ツ星館
 むつみ建設株式会社
 むつみ造園土木株式会社
 有限会社村田弘建築設計事務所
 医療法人祐愛会加藤病院
 ユーアイ警備保障株式会社
 ユナイテッド計画株式会社
 菱明三菱電機機器販売株式会社
 鹿前運輸株式会社

【個人】

小笠原直樹 小林 忠雄 佐藤 正雄 成田 昭夫
 神部 敏夫 佐藤 和志 奈良 正人

※あいうえお順 ※11月30日受付分まで



平成27年度 (公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ ご協力ありがとうございます ～

県体育協会の賛助会員として、事業推進にご協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【法人会員】

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|
| 秋田いすゞ自動車株式会社 | 株式会社エフエム秋田 | タプロス株式会社 |
| 秋田運送株式会社 | 奥羽電気設備株式会社 | 千代田興業株式会社 |
| 株式会社秋田温泉さとみ | 大塚製薬株式会社秋田出張所 | 辻不動産株式会社 |
| 秋田空港ターミナルビル株式会社 | 奥山ボーリング株式会社 | 東亜道路工業株式会社秋田営業所 |
| 株式会社秋田ケーブルテレビ | 医療法人回生会秋田回生会病院 | 東北環境管理株式会社 |
| 一般社団法人秋田県建設業協会 | 株式会社鹿角パークホテル | 株式会社東北ビルカンリ・システムズ |
| 一般社団法人秋田県サッカー協会 | 医療法人久幸会 | 中田建設株式会社 |
| 一般社団法人秋田県歯科医師会 | 清三屋商事株式会社 | 株式会社NIPPO秋田統括事業所 |
| 秋田県柔道連盟 | 株式会社黒澤塗装工業 | ニプロ株式会社大館工場 |
| 一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会 | 医療法人慧眞会 | 日本精機株式会社 |
| 秋田県少林寺拳法連盟 | 医療法人弘仁会島田病院 | 日本電機興業株式会社 |
| 秋田県信用保証協会 | 株式会社光風舎 | ネットトヨタ秋田株式会社 |
| 秋田県水泳連盟 | 株式会社光輪技研 | 株式会社八郎瀉印刷 |
| 秋田県ソフトボール協会 | コクヨ東北販売株式会社 | 船川臨港運送株式会社 |
| 公益社団法人秋田県バス協会 | コマツ秋田株式会社 | 文化シャッター秋田販売株式会社 |
| 秋田県バドミントン協会 | 有限会社佐々木製作所 | 堀江建材株式会社 |
| 秋田県武術太極拳連盟 | 有限会社佐藤養助商店 | 株式会社本間 |
| 秋田県木材産業協同組合連合会 | 株式会社サノ・ファーマシー | 株式会社丸臣高久建設 |
| 一般社団法人秋田県薬剤師会 | 猿田興業株式会社 | 名鉄観光サービス株式会社秋田支店 |
| 秋田魁会 | 医療法人慈心会寺田内科医院 | 社会医療法人明和会 |
| 秋田指月株式会社 | 白神森林組合 | 株式会社ユアテック秋田支社 |
| 秋田白玉工業株式会社 | 有限会社すぐる不動産 | 株式会社友愛ビルサービス |
| 秋田信用金庫 | 社会医療法人青嵐会 | 有限会社雄駿 |
| 秋田ステーションビル株式会社 | 全国農業協同組合連合会秋田県本部 | 由利工業株式会社 |
| 秋田テレビ株式会社 | 創和技術株式会社 | 臨海碎石株式会社 |
| 秋田ホーチキ株式会社 | 株式会社大同観光 | 株式会社ルーラル大潟 |
| 株式会社アテック | 大堂電機自動車工業株式会社 | わかみハート薬局 |
| 伊藤建設工業株式会社 | ガイドドリンコ株式会社東北第一営業部 | |
| 羽後電設工業株式会社 | 太平山観光開発株式会社 | |

【個人会員】

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋元 昌貴 | 尾形 隆 | 佐藤卯兵衛 | 奈良 正人 | 宮田 正旭 | 渡邊 剛 |
| 安藤 進 | 金子 良雄 | 佐藤 有一 | 西村 悦子 | 茂木 秀悦 | 渡辺 正典 |
| 池田 正 | 熊谷金次郎 | 中村 六郎 | 半田 祐毅 | 米塚善之助 | |
| 伊勢 準造 | 児玉 要 | 滑川 利生 | 細谷孝二郎 | 渡部 聡 | |

※あいうえお順 ※11月30日受付分まで
(敬称略)



県体協事務局だより

会議録(抄)

9月4日 第2回定例理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・インターハイ、東北総体の結果について
- ・寄付金の申込み状況について
- ・平成27年度東北総合体育大会功労者表彰について
- ・第70回国民体育大会秋田県選手団本部役員(案)について
- ・オリンピック候補選手支援募金について
- ・秋田県への要望について

バスケットボール競技普及等助成事業

今年度も、秋田プロバスケットボールクラブ株式会社から、本県のバスケットボール競技の普及・振興等に役立ててほしいと、100万円の寄付金をいただいております。

県体協では、この寄付金で、県内の小・中・高校生のバスケットボールチーム等に助成することとし、県ミニバスケットボール連盟、中体連、高体連あてお知らせしております。

1. 助成対象団体

県内の小学校、中学校及び高等学校並びにこれらが加盟する各体育連盟等、児童生徒を対象としたバスケットボール事業等を行う団体

2. 助成対象事業

- (1)大会、練習会、合宿、講演会、クリニック等の開催
- (2)用具の購入

3. 助成金額の上限

1 団体20万円

4. 申請期限

平成27年12月24日

5. その他

要項及び様式は、県体協ホームページに掲載
<http://www.akitaikyo.or.jp/>
(資料・様式ダウンロードのページです。)

平成27年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠にありがとうございます。
今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

潟上市体育協会	創立10周年記念式典・祝賀会	7月26日	潟上市役所・くらら
秋田工業高等学校ラグビー部	創部90周年記念式典・祝賀会	9月12日	秋田キャッスルホテル
北秋田市体育協会	創立10周年記念式典・祝賀会	11月14日	ニューグランドホテル松鶴
秋田県軟式野球連盟	創立70周年記念式典・祝賀会	11月28日	秋田ビューホテル
由利本荘市体育協会	設立10周年記念 まるごとスポーツフェスティバル (レセプション) (スポーツフェスティバル)	10月24日	ホテルアイリス
		10月25日	カダーレ



県体協が入居している「秋田県スポーツ科学センター」は、空調設備等の大規模修繕が行われています。12月28日(月)には全館停電のため終日休館しますので、県体協もお休みとなります。来年も、どうかよろしくお願いいたします。

ご多用中の折、本誌への取材協力や原稿執筆などご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。

(佐藤事務局長)

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.[®]

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766

駄菓子のしもむら

検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

株式会湯沢生コン
地域の発展とともに
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エイコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木 村 了
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町4番37号 Tel.018-862-6388

あきた eco
らいす



美人を育む
秋田米

農薬成分をこれまでの半分以下に抑えた あきた ecoらいす

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまに
能代山本スポーツリゾートセンター アリナス

スポーツ 合宿 研修 ... に

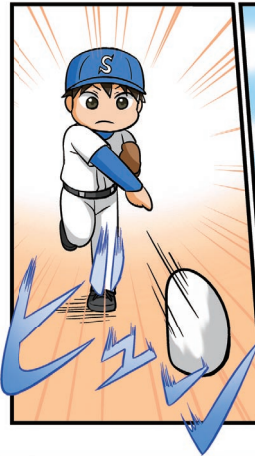
ア リ ナ ス 宿 泊 室
ト レ ー ニング ルーム ス ト ラ ン 場
温 水 プ ー ル 温 泉 浴 場
研 修 ルーム (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



まかせて安心



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成27年3月から)

加入区分・掛金・補償額

団体活動を行う5名以上の方でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当り)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (軽・重)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人1億500万円 対人・対物賠償 合算1事故500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円		
大人 高校生以上 65歳以上の 方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 ※自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		



携帯電話から資料請求ができます。

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行って
おります。詳しくは、ホーム
ページをご覧ください。

※同一団体が1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360

((公財)秋田県体育協会内)
電話受付時間：午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日 9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成27年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上

平成26年12月作成 14-T-09668